

GAIA
BOOKS
ガイアブックス



西欧800年の 指輪史

ーヴィクトリア&アルバート博物館の
指輪コレクションから読み解くー



レイチェル・チャーチ 著

指輪のルーツは、魔除けや護符、地位や身分の証明、婚約や既婚のしるし、武器などの目的から装身具として始まったといわれている。人類の歴史を通じて、指輪は、広義の装飾美術の流行に沿って変遷してきた。

指輪は単なるファッションではなく、富や地位の象徴でもあった。

本書は、指輪にまつわる 800 年の歴史的背景を 6 つの章に分け、その時代ごとの流行や技法、指輪に関わる人々の歴史をも解説している。

中世から現代まで、西欧の伝統にのっとってヨーロッパで作られてきた指輪を、ロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館の類稀なる2000点以上のコレクションから選んで歴史と共に紹介する。



ヴィクトリア & アルバート博物館

現代美術や各国の古美術、工芸、デザインなど多岐にわたる400万点の膨大なコレクションを中心にしたイギリスの国立博物館。本館は首都ロンドンのケンジントンにある。ヴィクトリア女王（1819年-1901年）と夫アルバート公（1819年-1861年）が基礎を築いた。

主な目次

はじめに / 第1章 1200-1500年 / 第2章 1500-1700年 / 第3章 1700-1820年 / 第4章 1820-1900年 / 第5章 1900-1950年 / 第6章 1950年 - 現在 / 用語集 / ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館収蔵品の起源 / 指輪の主要なコレクション

著者：レイチェル・チャーチ（Rachel Church）

ヴィクトリア&アルバート博物館の彫刻・金属細工品・陶磁器・ガラス工芸品部門の専門職員で、指輪のコレクションに特別の責任を持っている。宝石に関する著述や講演を行い、ウィリアム&ジューディス・ボリングー・ジュエリー・ギャラリーの再展示に携わる。ヴィクトリア&アルバート博物館が所蔵するギルバートコレクション中のゴールドボックスに関する寄稿をはじめ、同博物館の出版物の多くに寄稿している。

翻訳者：和田 侑子（わだ ゆうこ）

早稲田大学社会科学部卒。書籍編集者を経て翻訳者に。訳書に、『VOGUE ON クリスチャン・ディオール』『VOGUE ON ユベール・ド・ジバンシ』『VOGUE ON マノロ・ブラニク』（ガイアブックス刊）、『紳士靴のすべて』『サルトリアリストX』（グラフィック社刊）、『マリメッコのすべて』（DU BOOKS 刊）などがある。

●全国の書店およびネット書店にて、お買い求めいただけます。

『**西欧 800 年の指輪史**』 注文書

ISBN:978-4-86654-030-6 C0067

160頁/A5変型(234×165×18mm)/上製/オールカラー

定価 **4,180円** (税込)

冊

※ご注文は、お取引先の書店様等をお願いいたします。